

## 第6地区コミュニティ

# 第7回防災訓練を実施

事業実施部会



【第6地区コミュニティ飯田会長の挨拶】



【古河消防署住吉分署 野澤指令長】

令和6年10月13日（日）午前10時より第6小学校の校庭及び体育館に於いて第7回防災訓練を行いました。当日は天候に恵まれ快晴の中、総勢270名の参加者があり大変有意義な防災訓練となりました。古河消防署、女性消防団、第七分団の皆様のご指導により6グループに分かれ、「消火器による消火訓練」、AEDを使用した「心肺蘇生訓練」、煙用テントの中での「煙体験」および「災害用伝言ダイヤル」の使い方などの内容となりました。今年度は新たに地震でのゆれを体験できる「地震体験車」と「梯子車両」のカゴに乗って上から下を見る体験なども加わって中身の濃い防災訓練となりました。

今回の防災訓練は防災意識の向上を一つの目的として私たちのスローガン

「私達は自分の命は自分で守る」と同時に周りに手を差し伸べる精神を大切に行動することを掲げて臨み、お陰様で第6地区コミュニティとして協力と助け合いでまとまりのある行動が生まれ、地域の連帯感がより一層増した防災訓練となりました。

関東地方の真ん中にある古河市ですが、いつ、いかなる災害に遭うかわかりません。常に災害があることを前提に備えたいものです。

●消防署職員



●各自治会の参加者



●消火器による消火訓練



●子供も一緒に放水訓練



●煙体験（煙テントの中で実際の煙の状況を確認）



●テントの中は煙で前が見えません



●心肺蘇生訓練（女性消防士の説明から始まる）



●体育館の中で4グループに分かれる



- 心肺蘇生訓練（実際に胸骨圧迫をやってみる） ●女性もやってみる



- 力の入れ具合と押す回数を習得する ●子供もやってみる



- 災害用伝言ダイヤル（NTT東日本）の説明



- ドローンを使用した地震での家屋被害調査



●地震体験車による震度6の体験



●側面の扉を開けると揺れる荷台が現れる



●荷台に座って震度6を体験



●側面のモニターには周囲の家具が揺れる状況が映し出される。



●はしご車でカゴに乗って下を見る



●上からは壮大な景色が見えます。



●第7消防団による放水訓練



●小川6地区地区長による総評報告

